

一般社団法人名古屋東法人会 主催
タケ海舟氏による歴史講演会

入場
無料

令和8年度大河ドラマ「豊臣兄弟！」主人公 豊臣(羽柴)秀長
～ 兄秀吉を天下人とした最強の弟で唯一無二の補佐役、
　今の世にも通じるナンバー2としての在り方を学ぶ～

日 時 令和8年3月27日(金) 開演15時30分
(開場15時00分、終了予定17時00分)

場 所 中産連ビル (名古屋市東区白壁三丁目12番13号)

講 師 歴史人:タケ海舟(小川剛史氏)

令和8年大河ドラマは、3年ぶりに戦国時代を舞台にした『豊臣兄弟！』。

ただし主人公は天下統一を果した豊臣(羽柴)秀吉ではなく、その弟の秀長であります。

誰もがご存知の信長・秀吉・家康の戦国三英傑の中で、信長と家康は父祖代々からの古参の家臣や自らが育成抜擢した新参の家臣を擁していく、彼等は主君の天下統一事業に尽力、多くの貢献を果しました。

二人とは対照的に、素性不明といつても過言ではない秀吉はゼロからのスタートであり、その不世出の才覚と魅力的な人心掌握術、そして幾つかの幸運によって、主君信長の天下一統事業を引き継ぎ、戦乱の世を終息させました。

ただし、代々の家臣を持たなかった秀吉が最も頼りとしたのは、肉親、即ち家族であり、その中で彼が絶大なる信頼を寄せていたのが、唯一の弟である秀長でした。

尾張中村の百姓(諸説あり)の次男に生まれた秀長(小竹・小一郎)は、乱世に己の人生を賭ける兄秀吉(藤吉郎)の代わりに母子一家を守っていたのですが、兄が信長に仕えたことを転機に兄と共に武士として生きるという一大決心をしました。

秀吉が織田家中で頭角を表し、東奔西走の戦いの日々に明け暮れる中、秀長はある時はその留守を守り、またある時は兄と戦場を共にする等、フル回転に活動！秀吉にとって秀長はかけがえのない弟であると同時に、替えの利かない補佐役となったのです。

主君信長の横死に端を発した怒涛の天下統一事業においても、秀長は常に表裏一体の存在として兄を支え、時にはその欠点を補完するような役割を果たす等、豊臣家及びその家臣団更には有力大大名の取次役としても力を発揮！自他共に認める豊臣政権ナンバー2の地位を不動の物としました。

しかしながら休む間もなく体を酷使し続けてきた反動からか、健康を害し病床に臥せるようになった秀長は… 天下統一完了から一年もたたないうちに、五十二年の生涯を閉じてしまいます。

秀長亡き後の秀吉の暴走ぶりと、後年の豊臣家の滅亡という史実を考えると、彼の早すぎる死が豊臣政権の痛手となったのが理解できる訳で、もし秀長が長生きしていたら…と考えざるを得ません。

今回の講演では、兄秀吉に天下を取らせた最強の弟で唯一無二の補佐役と呼ばれた秀長の実像と今の世にも通じるナンバー2の在り方について考えてみたいと思います。

◆参加申込み方法：下記にご記入のうえ、FAX 052-939-2527までお申込みください

事業所名 【

】 連絡先 【
電話番号 【

参加者氏名 【

】 【
】 【

※法人会会員以外の方も参加できますので、皆様お誘いあわせのうえ、お申し込みください。

※当日、この用紙をご持参のうえ、会場にお越しください。

※定員を超えた場合はお断りする場合がございますので、あらかじめご了承願います。

お問合せ先：一般社団法人名古屋東法人会 事務局
TEL 052-939-2520 FAX 052-939-2527

 法人会【地域社会への貢献を目的とする事業】